

平成目安箱への回答 No.22 (在来鉄道騒音の対策について)

担当主管課：環境課環境・エネルギー係 電話 72-4438

要望等内容	回答
<p>環境省から平成7年12月に「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針」が出されていますが、町の在来鉄道は新設でもなく、大規模改良もないためか、騒音対策が進んでいないように思えます。</p> <p>H24. 10. 22 No. 33 (JR騒音に対する住民要望について) の回答にあるように、JRに対する遮音壁の設置要望は実現していないのが現状です。</p> <p>[提案] 現在設置されている遮音壁に、効果を増加させる器具を取付ける。 具体的には、関西大学にて研究開発された「エッジ効果抑制型遮音壁」などを今の遮音壁に増設する。 参考URL:https://www.toyro.co.jp/img/img-report/b.daigaku_1807.pdf</p> <p>[期待効果] ・既存の遮音壁に追加する形なので、コストが抑えられる。 ・0.6m程度のパネルの追加で、2~3m遮音壁を追加した場合と同等効果が期待できる。 つまり、遮音壁の高さをあまり変えずに遮音効果が期待でき、町の景観を崩さない。 景観計画の一環として電線の地中化を進めていますが、鉄道騒音を抑えながらも景観を損なわない本提案を検討願います。</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>電車騒音の基準値につきましては、新幹線鉄道に係る環境基準は定められておりますが、在来線鉄道に対しましては規制がない状況です。</p> <p>平成 29 年度にも同様のご意見をいただき、JR貨物駅に現状の説明を行い、対応策について検討をお願いしております。鉄道事業者において防音壁を設置する計画はないものの、在来線鉄道の騒音対策としてロングレール化を推進しておりますが、継ぎ目や切替えポイントでは騒音・振動が発生してしまう現状です。</p> <p>騒音問題は線路沿いに住む方々にとりまして、大変悩ましい問題と認識しております。今回御提案いただきました「エッジ効果抑制型遮音壁」につきましては、JR大磯駅を管轄しているJR平塚駅に対しまして、東日本旅客鉄道株式会社の本社等に今回の提案を含めまして騒音対策を講じていただくよう伝えました。その際、JR平塚駅からは、「エッジ効果抑制型遮音壁の設置については、大磯町に限らず、市町村の景観等に配慮しなければならず、設置費用等の課題もあるため慎重に対応させていただくということ、また、今後も騒音の低減対策に努めていく」との回答をいただいております。</p> <p>町としましても、引き続き鉄道の騒音・振動対策に関して、関係機関等に機会を捉えて働きかけを行ってまいります。</p> <p>この度は、御意見をいただきありがとうございました。</p>

目安箱受付日：H31. 3. 19

掲示日：H31. 4. 26